

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和6年3月31日

事業所名 児童発達支援 あゆみ教室

保護者等数（児童数） 25 回収数 25 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25				広々として走ってもケガをしにくいようにしてあり助かる。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	1				重要事項等の説明を行い、職員紹介表に職名を追加します。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24			1		見学や入室の時に詳しく説明します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	1		1	髪や服に白い粉のようなものが付着して、叩くだけでは取れない。	クッションマットの劣化のため白い粉が付着しているため、次年度から順次マットの取り替えを行う予定です。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	24			1		保護者の願いが記入された書類を提示しながら説明を行います。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21			4		児童発達支援ガイドラインに沿って、個別支援計画を作成しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	22	1		2		個々に応じた活動を選択し、保護者にも活動のねらいを伝えていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	3	5	8	交流の必要性を感じていない。	園との併用児がほとんどですが、園を利用していない子どもには、子育てサロン等への参加を積極的に促しています。

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25						
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23			2		個別支援計画の内容の説明時に児童発達支援ガイドラインを用いて更に具体的に説明します。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	24				1		外部講師を招き定期的の実施しています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	25					気になる所などよく話をしてくださり助かります。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	1					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	4	1		11	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトレの保護者や先生との座談会はとてためになった。 ・父母の会はないが、控室で保護者同士でのやりとりはできている。 ・保護者会にはまだ参加したことがない。 	保護者会の組織はないが、母子通園のため保護者同士が情報交換できる談話室を設置しています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	1			1	<ul style="list-style-type: none"> ・園では聞きにくいことや分からないことを教えていただき感謝している。 ・娘のことで相談に乗って下さり、とても感謝している。 	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25						
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1	1		9		アンケートの集計結果をホームページにて公開し、保護者に周知しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	22	2				1	控室のファイルにまれに書類が入っている。
非常時等の	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	17	2			6	感染症に対してはなされているが、それ以外は分からない。	入室時に各種マニュアルについて説明すると共に、玄関に設置していることを分かりやすく表示します。

対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2	1	11		訓練予定などを玄関に掲示します。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	24			1	・次はいつ?と聞いてくるくらい楽しみにしている。 ・先生や友達に会うのを楽しみにしている。 ・毎週楽しみにしている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	25				満足です。いつもありがとうございます。	

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。